

【台風に伴う海難の傾向】

台風に伴う船舶海難が過去5年で473隻発生しております（H26—H30累計）。このうち約7割がプレジャーボート・漁船です。内訳は転覆・無人漂流（係留不備）・浸水が全体の約8割を占め、そのうちの約8割が係留中に発生しています。

台風接近に伴う事故防止対策

●最新の**気象情報を入手**し、不用意に海に近寄ることは避けましょう

✓ **最新の気象情報**を入手するために「海の安全情報」の活用を。

海上保安庁では、インターネットや電子メールで全国各地の灯台などで観測した気象・海象の状況、気象庁が発表する気象警報・注意報をはじめとした、海の安全に関する情報を提供しています

「海の安全情報」携帯電話用サイト
<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html>



「海の安全情報」スマートフォン用サイト
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>



「海の安全情報」緊急情報配信サービス
<http://www7.kaiho.mlit.go.jp/micsmail/reg/touroku.html>



気象警報・注意報の例 スマートフォン用サイト



●事前に**船体の安全を確保**しましょう

✓ 台風の進路を確認し、**早めに安全な海域に避難**しましょう。

✓ 係留中の「浸水・転覆」を防止するため、前もって**次の対策**を講じましょう。

●係留索の増強

風向き、高潮による潮位の変化を考慮した係留索の増し取り等

●早目の陸揚げ

●シートで覆う

●重量物の取り外し

強風や大雨が予想される場合は、早めの対策を！

▶ 作業時の注意事項

作業等を行う場合は、**海中転落**に備え、必ず
救命胴衣を着用し、**複数名での作業**を心がけましょう

●マリンレジャーは**高波に十分注意**しましょう

✓ 遠方の台風でも高波が急に押し寄せることがあります。

●釣りについて

最新の気象情報を入手し、荒天が予想される場合、中止や早めに切り上げるようにしましょう。

●海水浴について

常に監視員等がいる管理された海水浴場で、管理者の指示やその日の遊泳条件を知らせるための旗（遊泳条件フラッグ）に従いましょう。

